

ステップ1

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【2】発表の場面でうまく伝える。
タイトル (教材名)	発表の場面でうまく伝える①
目的 身につけてほしい力	発表の場面に慣れる。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>あらかじめ知らされていた質問を班やクラスの中で受け答えをする。</p> <p>質問例：「好きな芸能人は誰ですか」 「好きな給食(食べ物)は何ですか」 「パンダは好きですか、嫌いですか」 「ドッジボールと縄跳びではどちらが好きですか」</p>
教材の使用法	<p>一対一から班、クラスというようにグループ規模を変えていく。 また最初は教師と練習しておくが良い。</p>
その他	

ステップ2

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【2】発表の場面でうまく伝える。
タイトル (教材名)	発表の場面でうまく伝える②
目的 身につけてほしい力	思いを伝える形式を知り、使えるようになる。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>思いを伝える形式、「私は〇〇と思います。なぜなら△△だからです」に沿って受け答えができる。質問内容はあらかじめ知らせておく。</p> <p>質問例：「好きな芸能人は誰ですか」 ⇒〇〇さんです。なぜなら△△のところが好きだからです。</p> <p>「好きな給食(食べ物)は何ですか」 ⇒〇〇です。なぜなら△△だからです。</p> <p>「ドッジボールと縄跳びではどちらが好きですか」 ⇒〇〇のほうが好きです。なぜなら△△だからです。</p>
教材の使用方法	<p>一対一から班、クラスというようにグループ規模を変えていく。</p> <p>また最初は教師と練習しておくが良い。</p>
その他	

ステップ3

大項目	⑤状況に応じたコミュニケーション
小項目	【2】発表の場面でうまく伝える。
タイトル (教材名)	発表の場面でうまく伝える③
目的 身につけてほしい力	5-2-1、5-2-2で学んだ事を活用することができる。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>思いを伝える形式、「私は〇〇と思います。なぜなら△△だからです」に沿って受け答えができる。<u>但し質問内容はあらかじめ知らせておかない。</u></p> <p>質問例：「発表会の題目は白雪姫がいいですか、美女と野獣がいいですか」 「次の学級活動はみんなで校庭で遊びたいと思います。どう思いますか」 「遠足の行き先で行きたいところを教えてください」 「どの班活動をしたいか、教えてください」</p>
教材の使用方法	<p>質問内容の難易度を変えていく。 YES/NOで答える質問から始め、オープンな質問(例：〇〇をどう思いますか)へと移行していく また最初は教師と練習しておくが良い。</p> <p>カードに「私は〇〇と思います。なぜなら△△だからです」を記入し、いつでも見れるようにしておく(視覚支援)。</p>
その他	